

## 柏崎刈羽原子力発電所における原子力防災訓練（再訓練）申し込みについて

2021年5月20日

東京電力ホールディングス株式会社

### 1 はじめに

2021年3月12日に実施した2020年度柏崎刈羽原子力発電所における原子力防災訓練において、「ERCプラント班との情報共有」に対して問題が確認された。問題解決のために過去の良好年度の訓練実績と比較・検証して、情報共有の仕組みと官庁との連絡体制を改善すべき課題として抽出し、これらの課題について、原因を分析して改善策を立案した。

立案した改善策については改善に要する期間ごとに、早急に改善すべき事項、短期的、中長期的に改善に取り組む事項に整理し、これまでに早急に改善すべき事項について取り組みを行った結果、要素訓練を通じた社内外の評価により、必要な情報に不足や遅れが無く、積極的に情報共有が図れる状態になったことを確認した。

当社は福島第一原子力発電所事故の当事者として、本件を直ちに是正すべき課題と位置づけ、改善を図ってきたので、当社が取り組んだ改善の方向性が規制庁の期待する方向性と相違ないことを再訓練により確認して頂きたいと考えている。

### 2 改善に向けた取り組み

#### (1) 課題抽出

抽出された課題は、下記①情報共有の仕組みと②官庁との連絡体制の不備に大別された。

- ① 事象進展の速い事故シナリオ場合、情報共有のためのツール（COP）およびその運用に不備があったため、ERCプラント班への説明者（以下、「スピーカ」と言う）が入手できる情報量や情報の整理が不十分であった。
- ② スピーカへのサポート体制およびスピーカの教育・訓練カリキュラムの整備が不十分であった。

#### (2) 改善方針

現在実施できる改善策として、早急に改善すべき事項として整理した下記の取り組みを実施した。

- ① 情報共有のためのツール（COP）と運用の改善として、ERCプラント班へ提示する説明資料のレイアウトおよび作成方法の見直しを実施した。
- ② スピーカのサポート内容の強化およびサポートメンバーの業務分担の見直しを実施した。なお、スピーカへの教育・訓練カリキュラムの整備については、中長期的に取り組む事項と整理しており、サポート体制の強化に関する項目とともに引き続き改善に取り組むこととする。

#### (3) 改善策の検証と検証結果

改善策の有効性については、要素訓練により有効性の検証を重ね、4月28日に実施した要素訓練での社内および他事業者の評価において、大部分の改善策について「良好」または「概ね良好」の評価を得た。なお、一部の改善項目については「更なる改善が必要」であることを確認したため、現在、追加の要素訓練にて習熟に努めている。

### 3 再訓練の実施要領

- (1) 再訓練希望日は、2021年6月11日（金）
- (2) 再訓練シナリオについて、事象進展の速い事故シナリオでも必要な情報が整理された説明資料が作成できることを確認するため、事象進展の速い2020年度の訓練シナリオをベースとして、訓練参加者が緊張感をもって望めるよう、一部条件を変更する（マルファンクションを追加する）措置を講じたシナリオとする。
- (3) 再訓練時における官庁との連絡体制（スピーカ含む）については、改善策の有効性を検証するために教育・訓練を実施した者により構成する。なお、官庁との連絡体制の拡充については、上記2に示す教育・訓練カリキュラムの整備を通じて実施する。

以上